

献 辞

長年にわたり関西大学商学部、および商学会のために尽くされた来住哲二先生は、1998年4月1日めでたく古稀の寿を迎えられることとなります。

商都大阪に生を受けられた先生は、旧制千里山中学校、関西大学予科を経て、関西大学経済学部にて学ばれた後、実業界で貿易実務に従事されました。その後1954年7月本商学部助手として任用され、専任講師、助教授を経て1968年4月教授に昇進、現在に至っております。その間、教育、研究の面はいうまでもなく、大学および学部の運営に関しても、多大の貢献をされてこられました。1972年10月から1年間務められた商学部長を皮切りに、教学部長、商学研究科長などの要職を歴任されております。

本商学部では、「貿易業務論」を長年にわたり担当され、実業界あるいは学界に数多の俊英を送り出されてこられました。ご専門の貿易実務に関する研鑽の成果は、幾多の著書論文をもって世に問われ、斯界での高い評価を受けておられます。また、日本貿易学会の会長、理事、日本商業英語学会の常任理事など学会の要職を歴任されて、斯学の発展に大いに寄与されてこられました。

先生は、実業界に身を置かれた経験を生かされて、常に実務との密接な関連のなかでご研究を進めてこられました。貿易関係官公庁における実務研修の講師、国際商事仲裁協会名簿仲裁人、大阪商工会議所専門相談員、など、まさに「実学の人」にふさわしいご活躍をされてきておられます。

学内外で八面六臂のバイタリティ溢れるお仕事をされてきた先生も、1998年3月末をもって関西大学を定年退職されることとなりますが、今後ともますますご健勝にして、商学部、商学会の発展のために、ご指導、ご鞭撻いただくようお願いしております。私たちは、ここに先生の古稀を記念して『商学論集』の特集号を刊行し、足跡を回顧いたしますとともに、心からの感謝の意を表します。

1998年2月10日

商学部長 永 沼 博 道